

後志自動車道
小樽ジャンクションCランプ舗装工事

通 信 管 路 工

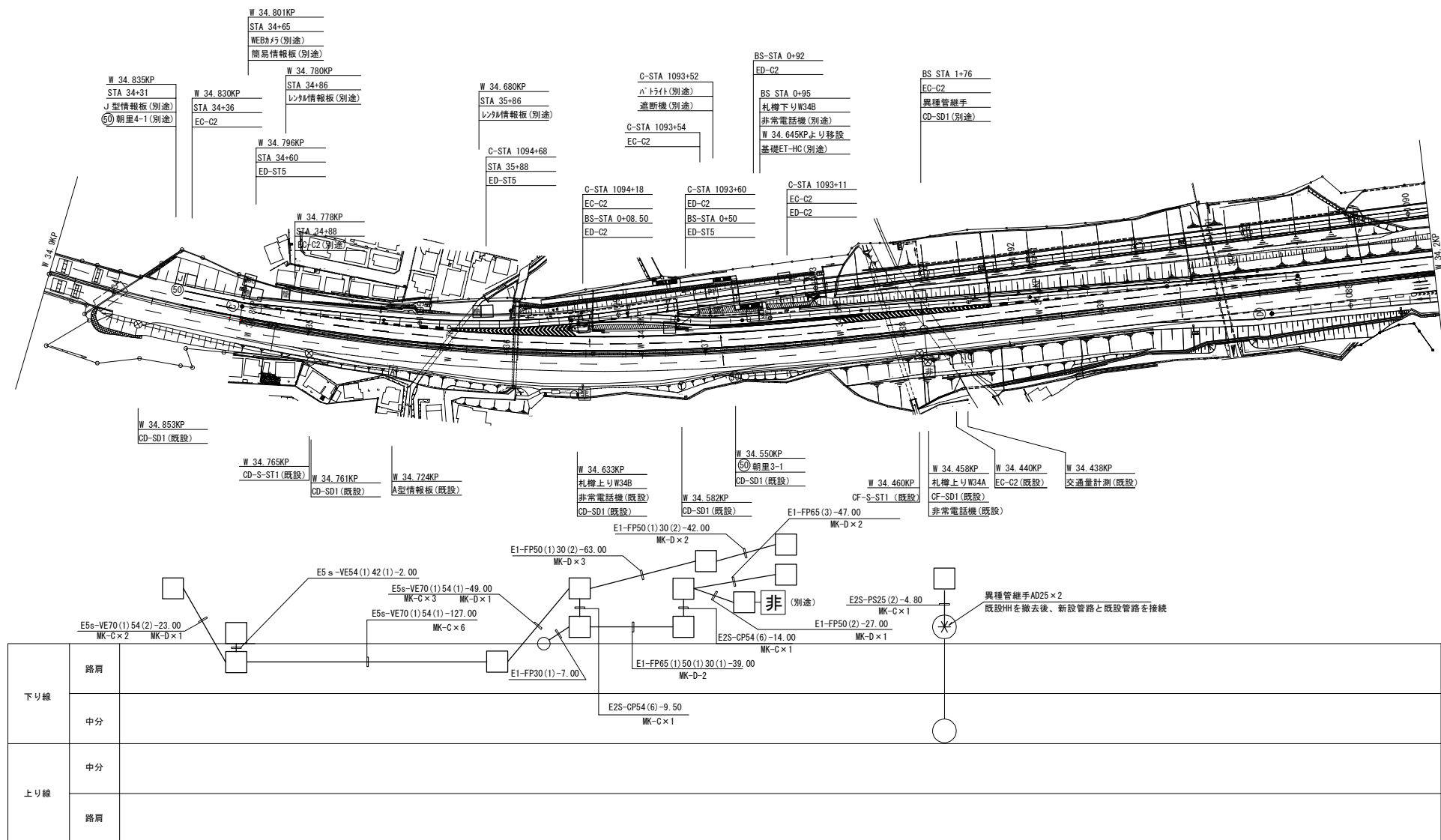
令和 8年 3月

東日本高速道路株式会社 北海道支社
札幌 工事 事務所

目次

1. 通信管路平面図(札幌道)	1
2. 通信管路平面図（Cランプ）	2
3. 標準横断図	3
4. 土工部管路工 配管図	4
5. 管路付帯工帯工図（1）～（2）	5～6
6. ハンドホール工詳細図（1）～（2）	7～8

通信管路平面図(札樽道) S=1/2000



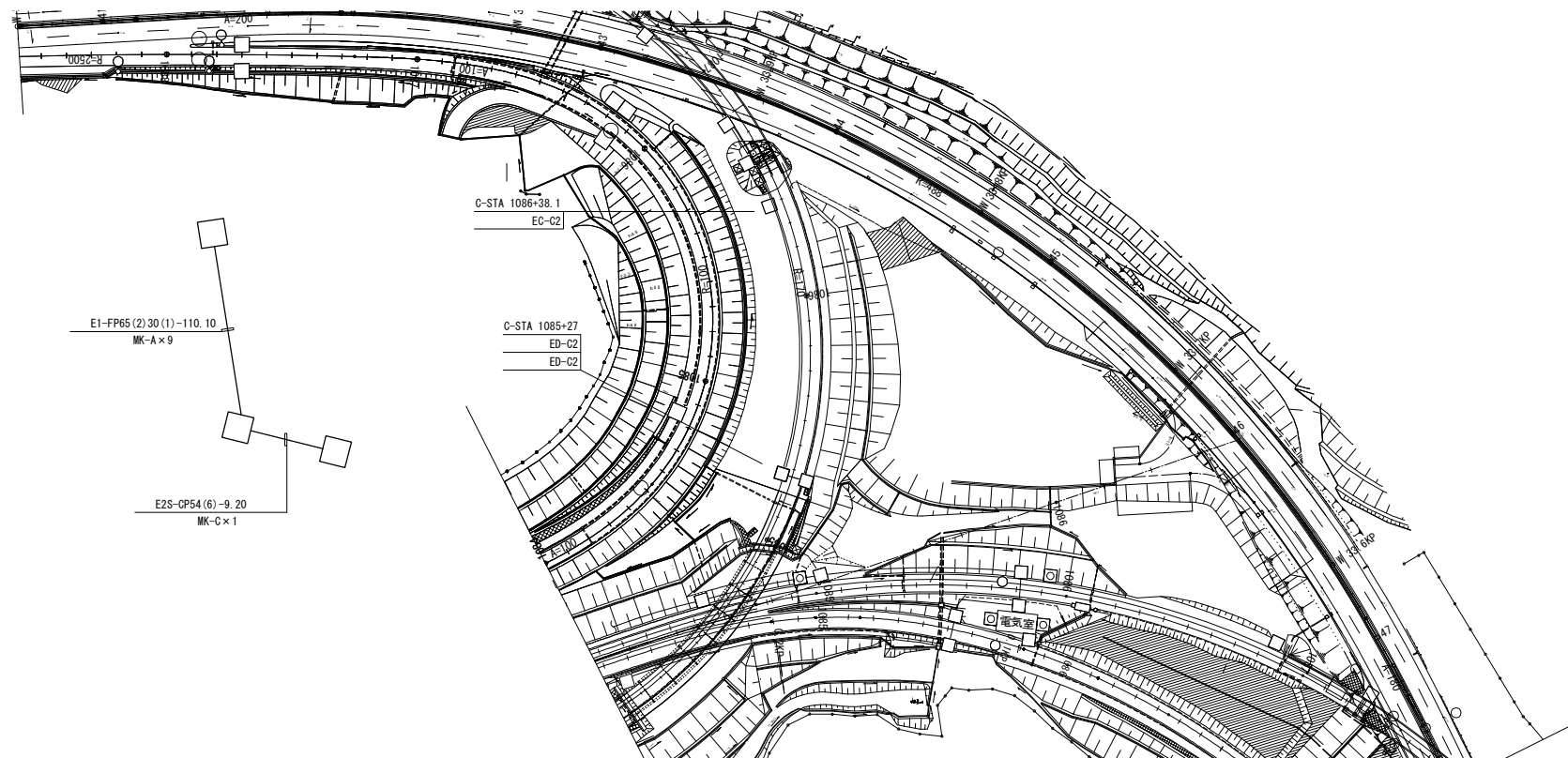
凡例

- 別途 (施設工事)
- 既設

- 注 1. BS-STA 1+76のEC-C2以外のハンドホール詳細については標準図[W-74.75]による。
2. 配管詳細については、標準図[W-06.07]による。
3. MK-Cの詳細については、標準図[W-34]による。

後志自動車道 小樽ジャンクションランプ接続工事			
図面の種類	通信管路平面図(札樽道)		
縮尺	1/2000	図面番号	1 / 8
設計会社名	株式会社サッポロ・エンジニアリング 北海道		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 札幌工務事務所		

通信管路平面図 (Cランプ) S=1/2000



下り線	路肩	
	中分	
上り線	中分	
	路肩	

- 注 1. ハンドル詳細については、標準図 V-74 による。
 2. 配管詳細については、標準図 W-07 による。
 3. MK-Cの詳細については、標準図 W-34 による。

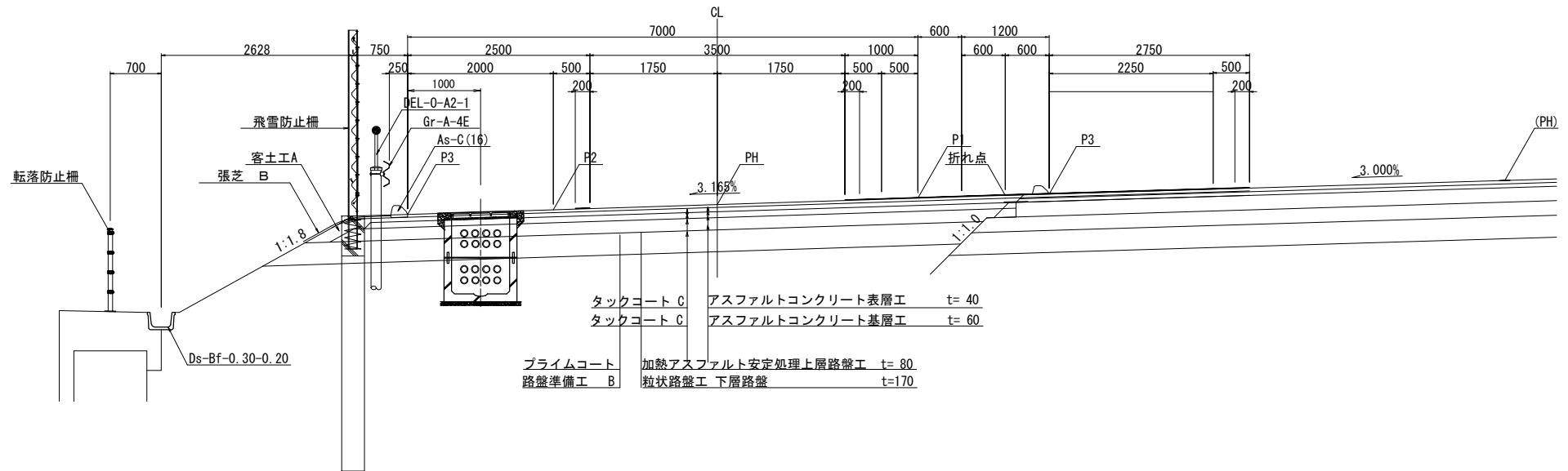
凡例

- 別途 (施設工事)
 □ 既設

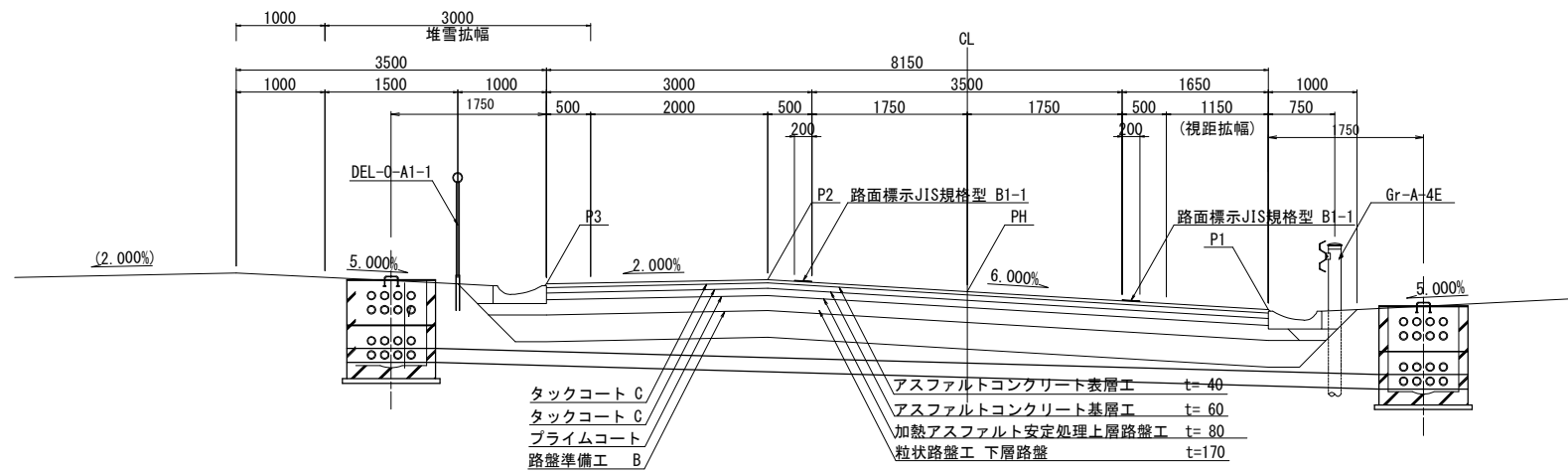
後志自動車道 小樽ジャンクションCランプ舗装工事			
図面の種類	通信管路平面図 (Cランプ)		
縮尺	1/2000	図面番号	2 / 8
設計会社名	株式会社ヤマ・エンジニアリング 北海道		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 札幌工務事務所		

標準横断図 S=1:60

Cランプ 本線 分岐部



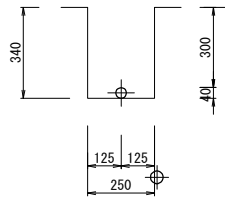
Cランプ 切土 標準部



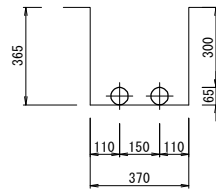
後志自動車道 小樽ジャンクションCランプ舗装工事			
図面の種類	標準横断図		
縮尺	図示	図面番号	3 / 8
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 札幌工務事務所		

土工部管路工 配管図 S=1:20

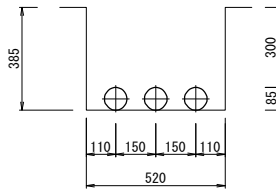
E1-FP30 (1)



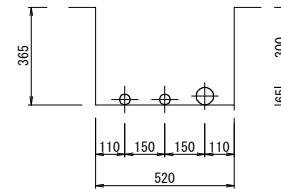
E1-FP50 (2)



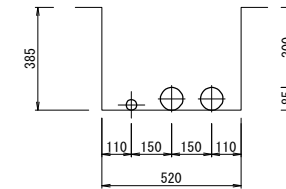
E1-FP65 (3)



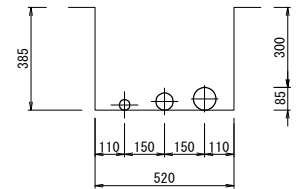
E1-FP50 (1) 30 (2)



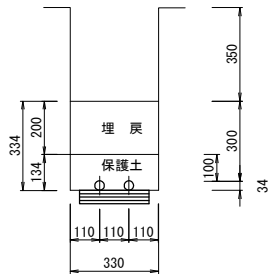
E1-FP65 (2) 30 (1)



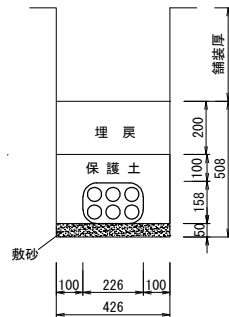
E1-FP65 (1) 50 (1) 30 (1)



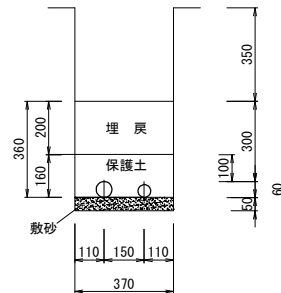
E2S-PS25 (2)



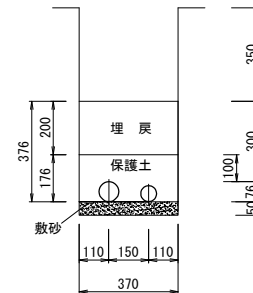
E2S-CP54 (6)



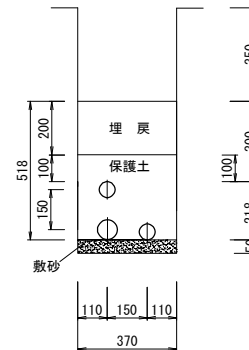
E5S-VE54 (1) 42 (1)



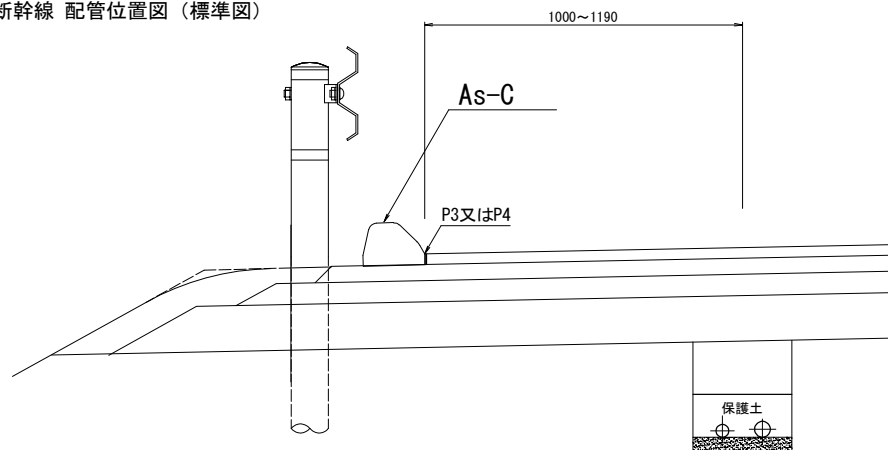
E5S-VE70 (1) 54 (1)



E5S-VE70 (1) 54 (2)



縦断幹線 配管位置図 (標準図)



管路掘削諸量

(1m当り)

管路種別	掘削 (m^3)	敷砂 (m^3)	保護土 (m^3)	埋戻し (m^3)	残土処理 (m^3)	枕木50用 (m)
E1-FP30 (1)	0.085			0.085		
E1-FP50 (2)	0.135			0.135		
E1-FP65 (3)	0.200			0.200		
E1-FP50 (1) 30 (2)	0.190			0.190		
E1-FP65 (2) 30 (1)	0.200			0.200		
E1-FP65 (1) 50 (1) 30 (1)	0.200			0.200		
E2S-PS25 (2)	0.111		0.045	0.066	0.045	0.120
E2S-CP54 (6)	0.216	0.021	0.074	0.085	0.131	
E5S-VE54 (1) 42 (1)	0.152	0.019	0.059	0.074	0.078	
E5S-VE70 (1) 54 (1)	0.158	0.019	0.065	0.074	0.084	
E5S-VE70 (1) 54 (2)	0.210	0.019	0.118	0.074	0.136	

注 図示以外のものについては、機械電気通信設備標準設計図 W-07, W-10 による。

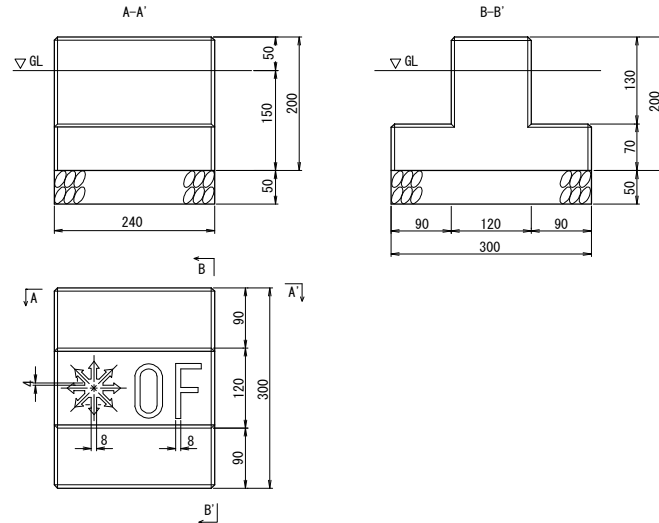
後志自動車道 小樽ジャンクションCランプ舗装工事			
図面の種類	土工部管路工 配管図		
縮 尺	図示	図面番号	4 / 8
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 札幌工務事務所		

管路付帯工 (1) S=1:10, 8, 2

(管路埋設標詳細図)

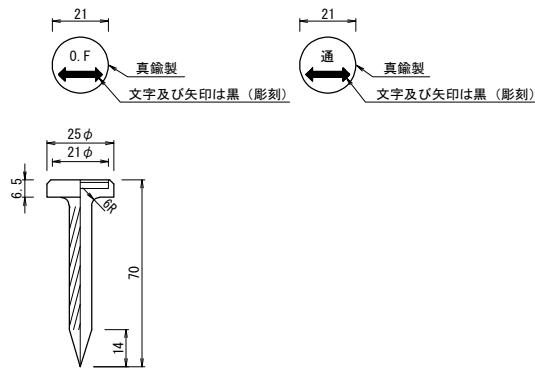
MK-A 詳細図 S=1:8

(土工部)

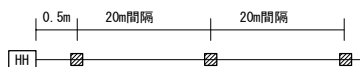


MK-C 詳細図 S=1:2

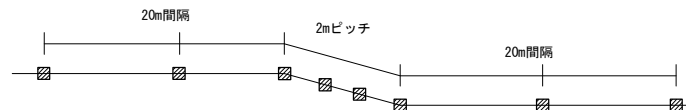
(アスファルト区間)



管路埋設標の設置方法
一般部の設置方法

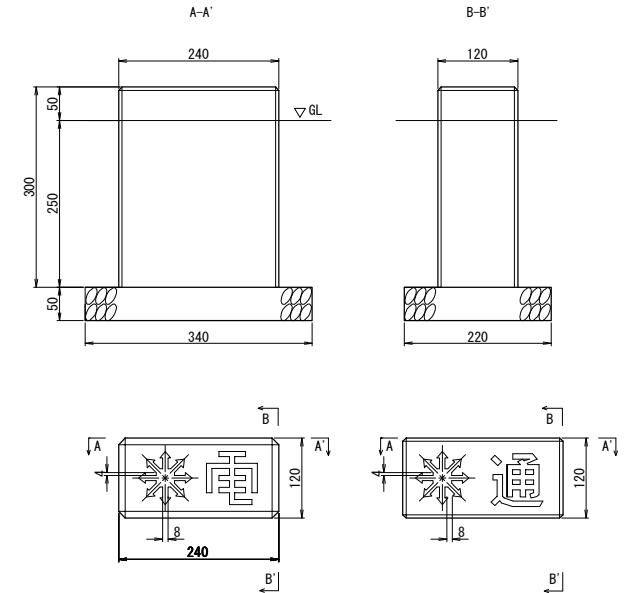


シフト変更部及び埋設深度変更部の設置方法

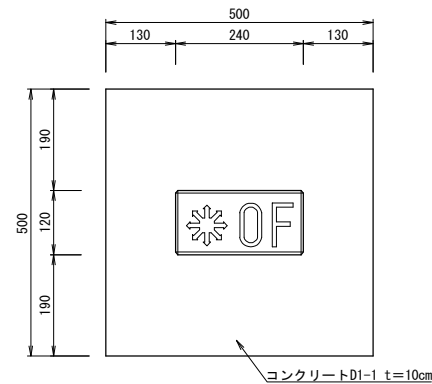


MK-D 詳細図 S=1:8

(土工部)



埋設標コンクリートシール詳細図 S=1:10



MK-A, MK-D コンクリート数量表

項目	規格	単位	(1箇所当り)		備考
			数	量	
コンクリート	D1-1	m ³	0.022	0.022	
型枠	D	m ²	0.200	0.200	
切込砕石	RC-40	m ³	0.004	0.004	

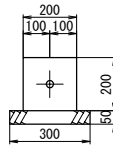
注) 埋設標柱が、草等により将来隠れてしまう恐れがある区間。

- 注 1. 上面の文字 (OF, 通又は電) は工場にて油性赤ベイントを塗布し矢印は現場にて管路又はケーブルの布設方向に近似した溝に塗布する。
その他の矢印は、モルタル詰とする。
2. コンクリート平板舗装数等に設置する場合は、周囲の高さと、埋設標上面は同一の高さにする。

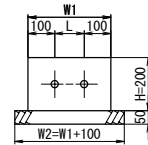
後志自動車道 小樽ジャンクションCランプ舗装工事			
図面の種類	管路付帯工 (1)		
縮 尺	図示	図面番号	5 / 8
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 札幌工事事務所		

管路付帯工 (2) S=non (ダクト口)

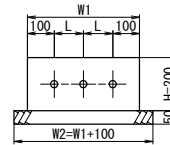
FP30 (1)
FP50 (1)



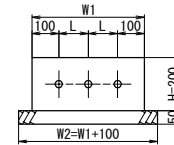
FP50 (2)
VE54 (1) 42 (1)
VE70 (1) 54 (1)
PS25 (2)



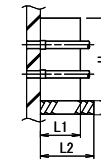
FP50 (1) 30 (2)
VE70 (1) 54 (2)



FP65 (3)
FP65 (2) 30 (1)
FP65 (1) 50 (1) 30 (1)

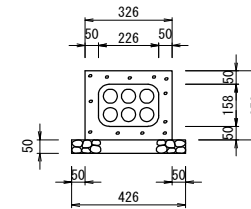


断面図

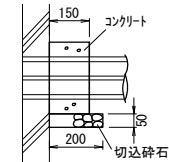


多孔管ダクト口CP54 (6)

断面図



CP54 (6) 体積 : 0.0054



管路付帯工ダクト口諸量

管 種 別	H (m)	W1 (m)	W2 (m)	L1 (m)	L2 (m)	コンクリート (m³) W1×L1×H	切込砕石 (m³) W2×L2×0.05	型 枠 (m²) (L1×2+W1)×H	ベルマウス (個)									
									FP			VE			PS			
									30	50	65	42	54	70	25			
FP30 (1)	0.200	0.200	0.300	0.150	0.200	0.006	0.003	0.100	1									
FP50 (2)	0.200	0.310	0.410	0.150	0.200	0.009	0.004	0.122		2								
FP50 (1) 30 (2)	0.200	0.420	0.520	0.150	0.200	0.013	0.005	0.144	2	1								
FP65 (3)	0.200	0.500	0.600	0.150	0.200	0.015	0.006	0.160			3							
FP65 (2) 30 (1)	0.200	0.420	0.520	0.150	0.200	0.013	0.005	0.144	1	2								
FP65 (1) 50 (1) 30 (1)	0.200	0.420	0.520	0.150	0.200	0.013	0.005	0.144	1	1	1							
VE54 (1) 42 (1)	0.200	0.350	0.450	0.150	0.200	0.011	0.005	0.130					1	1				
VE70 (1) 54 (1)	0.200	0.350	0.450	0.150	0.200	0.011	0.005	0.130						1	1			
VE70 (1) 54 (2)	0.200	0.310	0.410	0.150	0.200	0.009	0.004	0.122				1	1	1				
PS25 (2)	0.200	0.310	0.410	0.450	0.500	0.028	0.010	0.242							2			
CP54 (6)						0.007	0.004	0.126										

凡 例

W1 : コンクリート幅 (mm)
W2 : 碎石幅 (mm)
H : コンクリート高さ (mm)
L : 管間隔 (mm)
L1 : コンクリート奥行き (mm)
L2 : 碎石奥行き (mm)

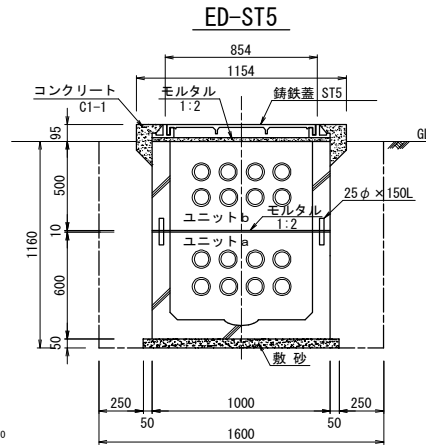
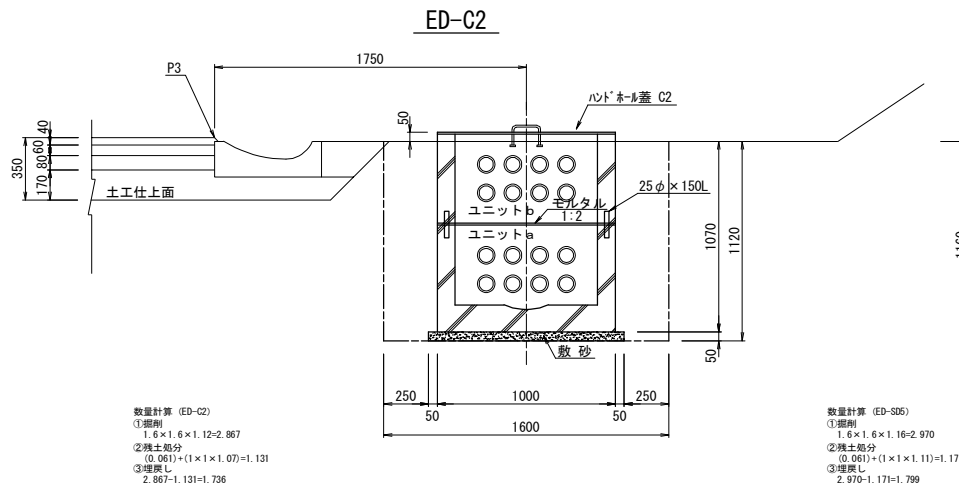
記事

- 管間隔 (L) は、配管径50mm以上は150mmとし50mm未満は110mmピッチとする。
- 管径の異なるものの同時布設の管間隔は、大きいほうの間隔とする。

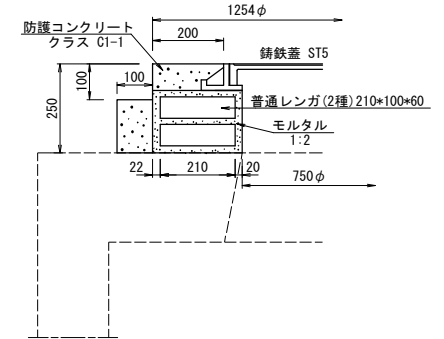
注 図示以外のものについては、機械電気通信設備標準設計図 W-32 による。

後 志 自 動 車 道 小樽ジャンクションCランプ舗装工事				
図面の種類	管路付帯工 (2)			
縮 尺	図示	図面番号	6 / 8	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 札幌工事事務所			

ハンドホール工詳細図 (1) S=1:30,15



MH蓋-ST5設置図 S=1:15



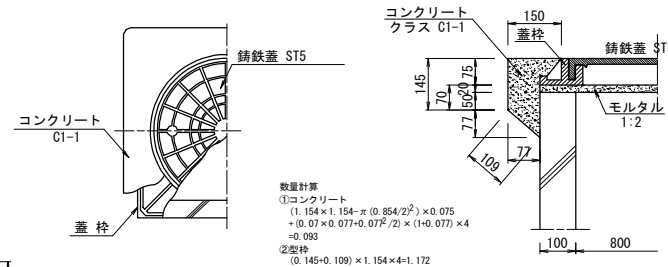
材料数量表

(1箇所当り)

項目	規格	単位	数量
鉄蓋	ST5	個	1
コンクリート	クラス C1-1	m ³	0.110
モルタル	1:2	m ³	0.080
型枠	D	m ²	1.079
普通レンガ	210×100×60	個	50

※ 数量は、機械電気通信設備標準設計図 V-80 による。
 数量計算
 ①型枠
 $(1.254 \times 0.1 \times 2) \times \pi \times (0.25 - 0.1) = 0.684834$
 $1.254 \times \pi \times 0.1 = 0.393756$
 $0.684834 + 0.393756 = 1.07859 \rightarrow 1.079$

鉄蓋-ST5設置図 S=1:15

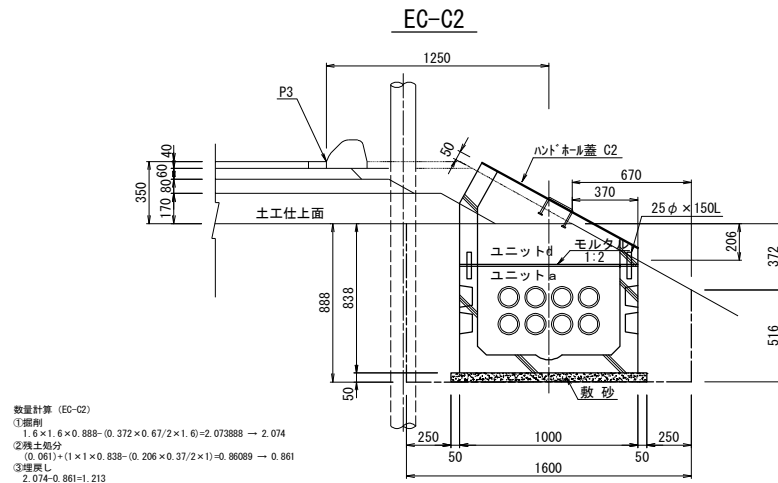


材料数量表

(1箇所当り)

項目	規格	単位	数量
			EC-C2 ED-C2 ED-ST5
ユニット	a 800×800×600	個	1 1 1
	b 800×800×500	個	1 1 1
	d	個	1 1 1
鉄筋	25φ x 150 L	本	4 4 4
鉄蓋	C2	組	1 1
鉄蓋	ST5	組	1 1
モルタル	1:2	m ³	0.004 0.004 0.011
敷砂		個	0.061 0.061 0.061
掘削		個	2.074 2.867 2.970
埋戻し		個	1.213 1.736 1.799
残土処理		個	0.861 1.131 1.171
コンクリート型枠	C1-1	個	0.093
	D	m ²	1.172

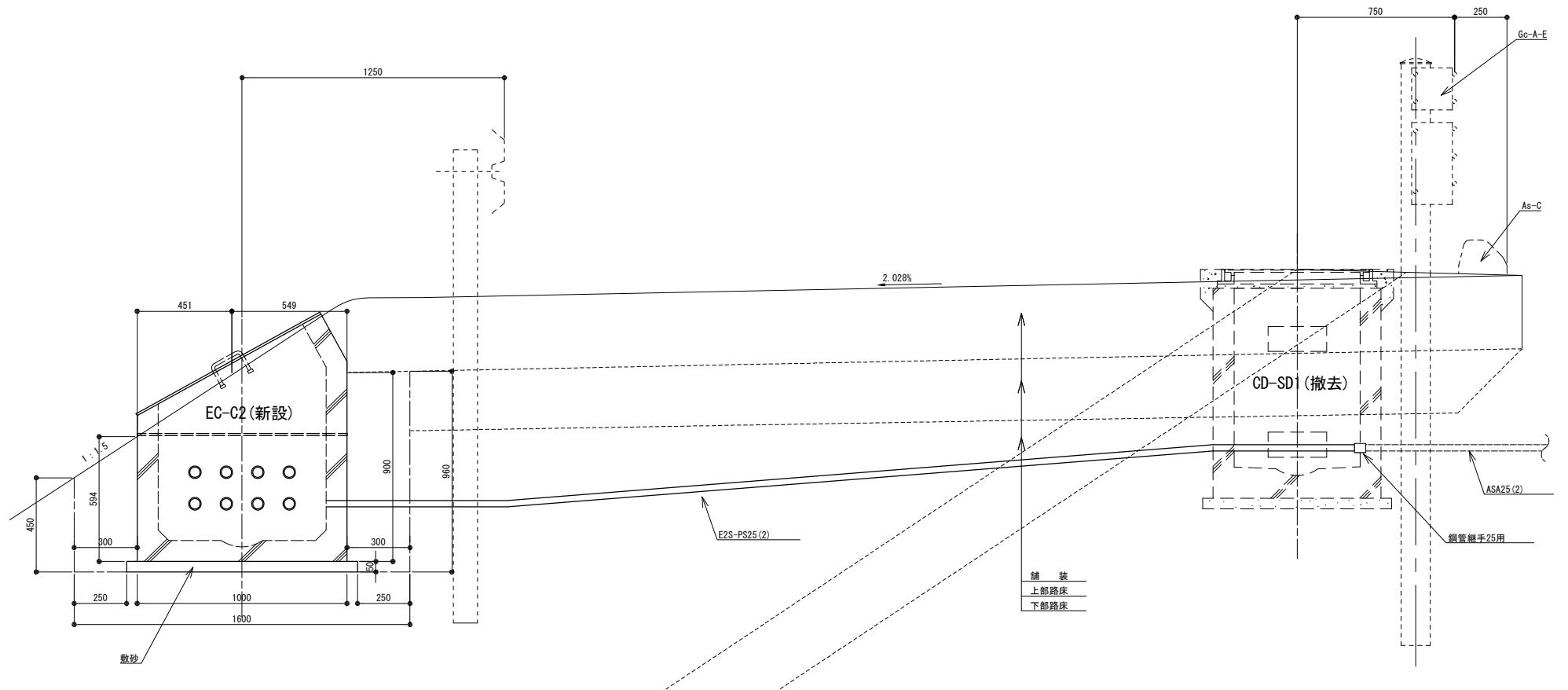
注 1. 上表にはダクト口の防護コンクリート数量は含まれていない。
 2. ハンドホール蓋C2は滑落防止用チェーン付きとする。



後志自動車道 小樽ジャンクションランプ舗装工事			
図面の種類	ハンドホール工詳細図 (1)		
縮尺	図示	図面番号	7 / 8
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 札幌工務事務所		

ハンドホール工詳細図 (2) S=1/500, 20

EC-C2 (札樽道下り BS-STA 1+76)



後志自動車道 小樽ジャンクションランプ舗装工事			
図面の種類	ハンドホール工詳細図 (2)		
縮尺	1/500, 20	図面番号	8 / 8
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 札幌工務事務所		